

第1回災害対策本部会議 議事録

1 日時 平成30年7月6日（金） 17:30～17:45

2 概要

（知事）

ただいまから県災害対策本部会議を開催します。

梅雨前線が西日本に停滞しており、これまでの大雨の影響で、すでに浸水や土砂崩れが各地で起きています。また、多くの市町村で、土砂災害警戒情報の発表をされています。今後さらに甚大な災害が発生するおそれがあるため、県は本日16時30分をもって非常体制をとりました。

本会議においては、被害状況と現在までの対応状況を把握するとともに、県の今後の対応方針を決定いたします。まず現在の被害状況等について、危機管理監から、その他追加の情報などありましたら、深刻な順番に各部局長から報告をお願いします。危機管理監をお願いします。

（危機管理監）

それでは、会議資料の表紙をめくった裏面をお願いいたします。15時現在の被害状況の取りまとめでございます。簡単に説明させていただきます。まず1の人的被害であります。危機管理チーム会議を行いました。その時には人的被害は出ておりませんでした。行方不明者、新見市1人ということで、69歳の男性が行方不明になっております。朝散歩に出かけたまま、行方がわからなくなっているという状況でありまして、現在、消防警察によって捜査が進められているという報告を受けております。住家被害、非住家被害はごらんのとおりであります。避難については大変重要でありますけれども、15時の取りまとめ以降、避難勧告につきましては、玉野市が新たに避難勧告を16時にしたという情報が入っております。それから3の避難準備・高齢者等避難開始につきましては、3時以降に真庭市、それから瀬戸内市、笠岡市、吉備中央町で新たに発令されたとの一報が入っております。避難所開設状況はご覧のとおりであります。ライフラインについては、あまり大きな被害は出ておりません。ごらんのとおり状況であります。その他、6番の道路状況ですが、これにつきましては、資料を1枚めくっていただきまして、土木部の所管のところでは全面通行禁止27ヶ所、それから調査中ではありますが、施設関係の被害も発生しているところがあります。農林被害も、ご覧のとおりであります。

次のページをお願いいたします。文教施設等についてもご覧の通り。県の対応については先ほどありましたように、非常体制に移行しているところでございます。

それから、10の災害対策本部の設置・廃止状況であります。ご覧のとおり

であります、新たに 15 時 30 分に西栗倉村が災害対策本部を設置したとの報告が入っております。心配されます土砂災害の関係につきましては、11 番の土砂災害警戒情報の発表状況にあるとおりであります、15 時 25 分に新たに高梁市と勝央町で発表されたとのことでもあります。簡単であります、概況は以上でございます。

(知事)

はい、ありがとうございます。土木部長、先ほどの追加で何かありますか。

(土木部)

はい。だいたい今説明があったとおりでございます、資料で土木部所管施設の被害状況にありますけれども、これは 15 時時点ということで現時点の 16 時半時点では全面通行禁止 31 ヶ所ということで、まだまだ増えておりますので、まだ予断を許さない状況でございます。公共土木施設については、鋭意調査中ということで、また今後明らかになってきます。

(知事)

リストだけ見ると、そこそこたくさんあるなっていうことで、これが、かなり細かいところが多くって、こんなもんですっていうことなのか。それとも、孤立する地点がかなり出るので、非常にまずいということなのか。今どれぐらいの感覚でしょうか。

(土木部)

この内訳ですけれども、今報道です、崩れているところが 32 ヶ所、それと、あと事前通行規制ということで、一定の雨量が降ったためにですね、事前に止めておくところが 13 ヶ所ぐらいあるんですけれども、だいたい現在の雨量の降り具合に見たらわかるとおり、だいたい山間部とか中山間部等が現時点では多いんですね。これから雨の状況によっては県南、人口産業集積のところに来ると、ちょっと影響が多いかなっていうふうな感じですね。特段、今の段階で孤立集落とかそういうところは、道路管理者側としては今のところは聞いておりません。

(知事)

はい。ありがとうございます。あと、県民生活部の方からありますでしょうか。フェリーの状況ですとか。

(県民生活部)

県民生活部です。交通関係の被害は特にありませんが、新幹線は一時、新大阪岡山駅間の運転を見合わせをしておりました。現在は新大阪小倉間は運転を再開しておりますが、ダイヤが乱れてる状況です。小倉博多間は運転を見合わせている。在来線等につきましては大半運転取りやめという状態。以上でございます。

(知事)

警察をお願いします。

(警察本部)

警察の活動状況の状況についてご説明いたします。県警察では、県の非常体制移行を受けて、警察本部及び各警察署に県警察災害警備本部第三次体制を設置し、市町村等々、被害情報の共有を図り、災害対応に万全を期しております。なお先ほどご説明ありました、新見市の連絡の取れない方につきましては、新見警察署員 20 名が消防団等と連携して捜索に当たっているところであります。引き続き、救出救助また避難誘導に迅速に対応してまいりたいと思います。以上です。

(知事)

ありがとうございます。自衛隊は。

(自衛隊)

自衛隊につきましては、13 特科隊指揮所開設し、情報収集中でありまして、初動対処部隊約 30 人、施設科についても指揮所を開設し情報収集中であります。即動人員約 60 名待機中であります。以上です。

(知事)

ありがとうございました。日赤の方から何か特にありますか。

(日赤)

今救援物資の搬送を行っているところが 2ヶ所あります。倉敷と津山ですが、これは被害があったというわけではなくて、避難行動に向けての明るいうちからの準備ということで、倉敷市、同水島同玉島に毛布等それから津山市に毛布 400 ほど今搬送しているところでございます。医療救護班に関しましても要請があればすぐ対応できるように準備を整えており、これも県の医療推進課とは連絡体制の確認は行っておるところでございます。以上です。

(知事)

ありがとうございました。气象台の方からぜひ今後の見通し等を。

(气象台)

それでは气象台の方からこれまでの状況と今後の見通しについて簡単にご説明いたします。これまでの状況につきましては、県北部とあと南西部の沿岸地域を中心に量が多くなっておりまして、日中県北部の方で 200 ミリを超えています。県内全域でだいたい 100 ミリを超える大雨となっております。12 時の天気図ですけれども、ご覧の通り、梅雨前線が西日本上空に停滞して活動を活発化させております。その右側が 16 時 20 分現在の雨雲の状況です。九州北部の方から中国山地上にかけて活発な雨雲が次々と入ってきている状況です。今後南

からの暖かく湿った空気の補強によりましてこの活動がさらに活発化する見込みとなっております。今回の雨のピークは今夜からあす朝にかけてと見込んでおりますが、予想天気図のとおり 7 日 8 日ともに梅雨前線が西日本に停滞したままで雨が降りやすい状況は引き続き日曜日まで続きます。今夜からあすの朝にかけてを中心とした防災シナリオを作っております。現在発表中の警報を赤の実線で書いております。今のところ雨のピークとしましては朝までと見込んでおりますけれども、今晚の雨の降り方によっては、土砂災害に対する警報、洪水に対する警報が全県で明日いっぱい書いておりますけれども、これが日曜日までずれ込む可能性があります。これまでのまとめと留意点を説明いたします。降り始めからの雨量は県全域で 100 ミリを超えております。多いところで 200 ミリです。これからあす朝にかけて局地的に非常に激しい雨が降り、24 時間降水量が多いところで 200 ミリと予想しております。引き続き土砂災害、浸水害、洪水害に厳重な警戒をしてください。終わりのピークを過ぎましても 7 日の午後以降も雨が降り続く見込みです。次の 24 時間の降水量 7 日の 18 時から 8 日の 18 時までの予想雨量につきましても多いところで 100 ミリを予想しております。ですので雨が弱まったからといって注意警戒の体制を緩めることのないようお願いいたします。気象台からは以上です。

(知事)

どうもありがとうございました。特に質問等は。
危機管理監の方から今後の対応について。

(危機管理監)

これまでに県内の広い範囲で土砂災害警戒情報や各種の警報が発表されており、今しがた気象台からの説明があったように、今後さらに大雨となることが予想されております。従ってさらに被害が拡大することが懸念されます。そのため、今後の対応といたしましては、まず、土砂災害警戒情報等が出された市町村に対して、住民の安全を確保するため、日没で避難が難しくなる前に早めに勧告し避難を促すなど、適切な住民の避難誘導について市町村に助言したいと思います。また、先ほど自衛隊、警察、日赤からもご報告いただきましたように今後人的被害の発生に際しましては、人命保護を最優先に迅速に応じ、警察、消防、自衛隊にも応援部隊の派遣をお願いするというようなことも考えられるところではありますが、いずれにしても迅速な対応を行いたいと考えております。日本赤十字社につきましても、負傷者等発生しましたが、救護など必要に応じて被災地での支援をお願いしたいと考えております。さらに土砂災害の危険がある地域や避難判断水位を超えた河川周辺の地域など、避難勧告が発令されている地域の住民はもとより、広く県民の方々にホームページや報道を通じて、これから起こりうる災害のリスクを広く情報発信し、自身の安全を確保

するための適切な行動を呼びかけたいと考えております。以上でございます。

(知事)

どうもありがとうございます。その他何かこれは今伝えておかなければいけないこと、もしくは質問等ありましたら。

本当にこれから降る雨によって当然対応が違ってくるわけで、可能性とすれば、夜中のうち深夜だったり未明のときにこの次の対策会議を開かなければいけない可能性もあります。

そのときに、こういうふうには責任者が集まればいいわけですが、説明責任者が集まらないので招集までに2時間かけますとか3時間かけてますっていうよりは、もし朝の4時に集まれということになったら、それぞれの部局の中で県庁に近いお前行ってくれみたいな、このときにはこうするあのときにするっていうのをざくっと、それぞれの部局で決めておいていただければと思います。部長と連絡が取ればもうそれで十分です。

この近くに泊まるっていうのはちょっと多分やりすぎだろうと思います。何かこうなったらどうすればいいかなみたいなことがありますでしょうか。大丈夫ですか。はい。それでは私の方から指示をいたします。もう本当にそれほど報告があったとおりでありまして、これからちょっと心配であります。

もう人命最優先ということでこれは当然ながら、被災された方の人命もさることながら、今、行方不明者を捜索してくれているとかこれからもそういうことがありますけれども、探しに行く人の人命も同じく気をつけてください。二次被害が出ないようにぜひ注意深くお願いします。

情報収集これは非常に大事です。きちんと市町村と連絡を取っていただければと思います。それからマスコミ等への情報の発信、これ非常に大事です。どの時点で公表すべきなのか。これが手遅れにならないように、もしくはもう今すでにやってくれたということですがけれども、市町村の方の対応が少し遅いようにもし見える場合にはこちらの方から促していくということも大事だと思っています。

ぜひよろしくお願いします。今回の会議は以上です。どうもありがとうございました。

第2回災害対策本部会議 議事録

1 日時 平成30年7月7日(土) 6:30~6:50

2 概要

(知事)

それでは、ただいまから第2回災害対策本部会議を開催いたします。

昨日16時30分をもって非常体制をとり災害対策本部を設置、第1回本部会議を開催したところです。そのうちご案内のとおり、数十年に一度の大雨が県内各地で降り続いたため、19時40分には本県で初めてとなる大雨特別警報が発表されました。まずは、現在把握している被害状況、対応状況について危機管理監から報告をお願いします。

(危機管理監)

被害は、現時点で行方不明者2とありますが、これは氏名等確認できるものです。

住家被害については、これから明るくなってさらに増えることが想定される。現段階で把握している数字とご理解ください。それ以下は、それぞれこれまで、数字をフォローしております。3枚目の地図の横にある主な個別案件について、情報共有したい。

まず、一番上の国道180号線総社市日羽駅周辺で、道路冠水、十余名が道路封鎖作業をされておりまして、自衛隊及び警察に出動を要請し、警察が現場に到着しましたが、救助対象者が不在という状況でありました。捜索を続けましたが、救助対象者が確認できていないところでございます。

次に、高梁市備中広瀬駅付近で、道路冠水のため、こちらも10数名が取り残されておりまして、自衛隊が救助を実施中です。

次の、高梁市落合町福地ほたるの里特別養護老人ホームで、1階が水没し、2階に80名がとり残されておりまして、自衛隊が現場に向かっています。

次に、総社市下原の朝日アルミ工場ですが、爆発がありました。原因不明ですが、民家1棟、倉庫1棟、空き家1棟が延焼したため、消防において対応しました。

次は、総社市美袋で、総社市消防職員が3名、川に流されうち2人は救助されましたが、1名が高梁川に流されているため、倉敷市消防、総社市消防、海上保安部が救助活動中です。

次に、高梁市有漢町で66歳の男性が行方不明との情報が入っております。

次に、倉敷市真備町箭田で、家屋2棟が流されておりまして、自衛隊が現場で対応中です。

映像は出るでしょうか。警察本部が地上から真備町有井で、撮影したものです。

この後も真備町箭田、有井、そのあたりが次々出てまいります、ご覧のような状況で・・・、

(知事)

これは川を映しているのですか。

(危機管理監)

一面水浸しといった状態で、資料の横に地図をつけておりますけども、小田川を挟んで、今お話しした大字が黄色で塗ってあります。この辺り一帯が冠水しているんじゃないのかというふうに、この映像や被害状況、救助要請の状況を踏まえると読み取れます。

次です。同じく倉敷市真備町有井、個別養護老人ホームクレールエステート悠楽で、屋上に20名が取り残されており、消防が現場に向かっています。

同じく、倉敷市真備町有井で、倒壊しそうな家に老人2名が取り残されており、警察が現場に向かったが、冠水により近づけない状況です。

井原市木之子町で、土砂崩れが発生し、消防が2名を救助し、救急搬送しました。

井原市西江原で、裏山が崩れで家屋倒壊、消防が2名を救出するも、1名はとり残されており、自衛隊が救助に向かっています。

矢掛町で土砂崩れが発生し、消防が1名を救助済み、1名を捜索中です。

次は、高梁市落合町近似で、80歳の男性宅の裏山が崩れ、住宅1棟に土砂が流れ込んでおり、安否は不明です。消防の対応ですが、二次被害の恐れがあるため、現場に近づけず、自衛隊が現場に向かっています。

高梁市落合町阿部で、ローソン高梁落合町の屋上に9名が取り残されましたが、これは消防により全員救出済みです。

高梁全域で、高梁川、成羽川水位上昇による冠水のため、水道水供給不能で、1万7000人に影響、自衛隊給水車が現場に向かっています。

以上でございますが、先ほど申しましたように、真備町箭田付近の状況が、まだまだ把握できてないものがあります。

明るくなっているいろいろな形で状況も判明してくると思います。現時点では、関係機関や市町村を通じて、内容が確認されたもののみを今回報告させていただいているということでご理解いただきたいと思います。

最後に、こういう状況にありますので、天候が回復したら、ヘリを活用することが重要になると考えておまして、航空運用調整グループをすでに立ち上げまして、県警、消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの調整を今後していく体制を整えつつあるところでございます。

(知事)

ありがとうございました。

ほかに、部局長から何かありましたら。

(土木部長)

土木部でございます。土木部の資料をご覧ください。まず、県管理道路に関する通行止めですけれども、現在規制中が約 160 ヶ所全面通行止めということになっております。

そのうち崩土が 45 ヶ所、冠水が 38 ヶ所、事前通行規制雨量による事前通告制が 64 ヶ所でございます。

この箇所以外につきましても、県内は高速道路が全て止まっております。

それと、直轄国道 53 号等々についても止まっておりますので、基本的に現在の道路網は、県下全域にわたって寸断されているという状況が続いていると思われまますので、まだこれ全て確認されておられませんので、これから日が明るくなるにつれて、またもう少し出てくるのではないかというふうに危惧している。

それで、今後の対策でございますけれども、まずは緊急輸送道路とそれと幹線道路を中心に、まずはなんとか片交で通すという方向でと考えています。

右上に「土木 2」と書かれた資料ですが、公共施設の被害状況でございますが、道路とかは現在調査中でよくわからないところがあるのですが、この中で河川のところ見ていただくと、一級河川小田川、矢掛町で右岸破堤が発生しております。それと、先ほどからありました真備町箭田の、高馬川、これも左岸が破堤しておりますして、おそらく半分に相当な浸水被害が出ているのもあります。

それともう一つ、岡山東区沼の砂川で、左岸が破堤しておりますして、ちょっと詳細わかりませんが、おそらく 50 から 100m ぐらいが破堤しておりますして、相当の浸水が発生しているというところがございます。これも先ほどありましたへり等を活用して、まずは状況把握に努めたいと思います。

(知事)

それでは、警察本部からお願いします。

(警察本部長)

先ほど危機管理監から個別案件について説明がありましたことについて、警察で把握している情報等についてご説明いたします。

一番上の高梁市で 14 名がとり残されている件で発見には至らなかったのですが、消防からの情報だと、3 名の方が流されたのではないかと、残り 11 名が流されたのか、場所を移動できたのかはわかりません。状況からすると、3 名は流されたのではないかと思います。

次に上から 4 番目の、アルミ工場の爆発ですが、付近の住民に負傷者が出ています。いずれも軽症のようでありまして、10 数名の方が負傷したようでありま

す。倉敷市真備町の箭田で家屋 2 棟が流されたという情報と、その 2 つ下、真備

町有井で倒壊しそうな家に老人 2 人が取り残されている、どちらに該当するかはわからないが、少なくとも、2 名の方が遺体で流されたと思われます。これが、2 棟流された件か、2 名が取り残された件なのかはわかりませんが、母と男性の家が流されそうだとということで警察が現場に向かっていたわけでありますけれども、その家が流された家でありました。

道路の状況については、高速道路は現在、全面通行止めとなっていますが、そのうち土砂崩れによる通行止めは、岡山自動車道の有漢インターチェンジから賀陽インターチェンジの上下線での土砂崩れによるものであり、ほかの部分把握できていませんが、雨の状況次第では、開通できるのではと思います。

道路で警察が把握している大きな損傷があるのは、国道 486 号線、井原市西江原地内で、道路が半壊しているのを確認しておいます。

現時点で、警察で把握している状況は以上です。

(知事)

気象台からも話を聞きたいので、小さいのはもうちょっと今はなしということで大丈夫ですか。はいどうぞ。

(保健福祉部長)

災害救助法の適用は基本的には知事の判断で継続的に支援しようというものでございますて、県内に 11 市 3 町に対して避難指示が出されました。調整して、次の判断で災害救助を適用するというので決めさせていただきたいというふうに思っておいます。以上です。

(知事)

はい。ありがとうございます。ちょっと自衛隊ですね。今の状況を簡単にお願います。

(自衛隊)

この個別案件のところ、その他、時間が来まして新たに倉敷市連島ですけれども、そちらでも土砂崩れが発生したということで、出動要請がきました。そちらにも向かっています。はい。また先ほどありました真備町、これは今自衛隊活動しておいますが、船を使って救助活動をやっておいます。その際今の現段階で 16 名を救助したそうです。引き続きここはどうしても船でということで、こちらを充実し、また今後それも含めてですね、上級部隊で今調整しておいますが、天候回復に伴うヘリコプター要請、それからやはりちょっと実際の体力的に足りないので上級部隊を通じて、他の方面からも部隊の増援を今積極的に調整しているという状況です。

(知事)

はい。ありがとうございます。ぜひ気象台は今後どうなりそうかっていうのをぜひ。

(気象台)

ここにありますように大雨の浸水、1時間に50ミリ以上のような非常に激しく降る雨については、だいたい昼前ぐらいまでを目途に考えております。

今ここにはありませんけれどレーダーで見ると広島県にちょっと強い雨雲がありまして1時間に50ミリから60ミリ降らせております。そういったものがちょっと入りそうだとということでこれが一つ山になりそうです。

その後ですけれど、やはり雨としては岡山は降ったり止んだりとは思いますが、1時間50ミリぐらいまではなさそうですけれども、激しい雨で1時間30ミリぐらいの雨はあるんじゃないかというふうに考えております。ちょっと長く雨が続けておりましたので、土砂災害についてはもう今日いっぱい、それから洪水についても今日いっぱいぐらいまでは警戒が必要になってくる。特別警報が出ていますので、嚴重な警戒、最大級の警戒をお願いしたい。特別警報が出ている間は、というふうに考えております。

これからの天気なんですけれど、ご覧のように7日、8日ともに梅雨前線が停滞しています。昨日今日のような強いものではなさそうで、ちょっと弱まりそうだというふうに考えておまして、非常に激しい雨はなさそうですけれども、梅雨前線の中にあるということで不安定な状況が続きます。ですので、ざっと降るような激しい雨としてはあるかもしれないというふうに考えておいてください。天気としてはこういうふうな形で時々止むかなというふうな状況ですけれども、明日についてもやはり曇り時々雨というふうな予想を出しております。雨については、明日までで一段落して、週明けからはちょっと晴れ間があるというふうに考えております。ただ、ご覧のように最高気温30度以上ということで少し暑くなりますので、野外での活動では熱中症に気をつけていただきたいなというふうに考えております。私からは以上です。

(知事)

ありがとうございます。大事なことはそれでとりあえず置いておいて、じゃあ今後のことを。はい。

(危機管理監)

今後、新たな被害が判明するということがあると想定されております。今後の対応としては、人命救助を最優先に、被災者の安全を確保するとともに、必要な支援を準備する必要があります。

また、二次災害を警戒しながらも必要に応じ警察、消防、自衛隊、日本赤十字社に協力をお願いし迅速な対応をとってまいりたいと思います。引き続き雨が降ることが予想されますので、被害が広がらないよう、土砂災害の危険がある地域や避難判断水位を超えた河川周辺の地域の住民の方は、ぜひ自身の安全を確保するために、適切な行動をとっていただきたいと思います。

以上です。

(知事)

ありがとうございました。この時点で、他に何かありますでしょうか。はい。

なければ私の方から。寝ずに対応している人も多数います。本当にお疲れ様です。ミスが増えてきますので、ぜひ注意をしてください。適宜交代していくことも必要かと思えます。

あと読みづらい地名があります。同じ場所のことを、読んだ人と見た人で別の話をしてるような可能性もありますので、ぜひふり仮名をつけながら場所の地名、それから建物の名前、これの横とかこれの合流したところとか、同じものを別の呼び方で読んだり、その逆にならないように気をつけてください。先方も当然慌ててますので、それだけに我々の方が冷静に対応しなければいけないと思っています。

人命最優先これは当然であります。あと二次災害もできるだけないように注意しなければいけません。

次の本部会議は昼ごろを予定していますので、ぜひそれを念頭に置いて動いていただければと思います。以上です。ありがとうございました。

第3回災害対策本部会議 議事録

1 日時 平成30年7月7日(土) 12:30~12:50

2 概要

(知事)

それでは、ただいまから第3回災害対策本部会議を開催いたします。

本日6時30分に第2回本部会議を開催したが、その後、把握した被害の状況や対応状況について、危機管理監からお願いします。その他、重要な情報があれば各部局長から報告をお願いします。

(危機管理監)

本日、11時現在で取りまとめた県内の被害状況は、お手元の資料のとおりです。

(17 主な個別案件)を中心に説明。

災害対策本部には個別案件の情報が入っているので、これがすべてという確証はありません。

ヘリコプターの運用状況を消防保安課長から説明します。

(消防保安課長)

航空運用調整グループを立ち上げまして、県消防防災ヘリ、岡山市の消防ヘリ、県警のヘリ、海上保安部のヘリ、それから自衛隊のヘリということで5者で調整しております。

現実に今飛んでいるのが、「きび」だけでございまして、「きび」は12時9分に離陸しております。それで救助に向かっているところです。

それからあと緊急消防援助隊ということで、4県、鳥取、奈良、東京、名古屋の消防の防災ヘリが応援にくる予定でございまして。

(知事)

それはありがたい。何時頃か。

(消防保安課長)

状況にもよりますけれども、今日中には岡南飛行場の方に入る予定です。

(危機管理監)

18のその他の情報ですが、災害医療本部及びDMAT、11時立ち上げ、13旅団より岡山への派遣部隊の増隊について検討いただいております。

それから、三つ目のぼつは、申し訳ありません最初の記述がとんでまして、8時55分に愛知県の援助隊の要請が来ておりまして、その後、11時20分に増隊要請をしているところであります。それに加えて、国からのリエゾン等が到着しておりますので、危機管理課長から、そのようなことについて報告させていただ

きます。

(危機管理課長)

国からの支援連携のために午前中に消防庁の方から1名活動していただいております。それから午後に内閣府の方から4名来ていただいて、連携をし始めるという形になっております。それから、逆に今度本県の方から岡山市、倉敷市の方に備前局、備中局から連絡調整のために連絡員を派遣しております。以上でございます。

(知事)

そもそも、今、川が決壊しているところを確認しておきたい。砂川左岸決壊ですよね。それから旭川堤防の左岸が決壊、あと倉敷市真備町の小田川左岸が決壊。今のところ決壊はそれだけですか。

(土木部長)

あと、真備は高馬川が決壊しております。

(知事)

では他の部局の方でこれも人命にかかわること限定でお願いします。

(警察本部)

救出状況であります。高梁市で22人救出しております。それから、真備町では26名を救出、それ以外で約80人を救出しております。今、真備町を中心に22ボート、機動隊80名体制で対応しております。

(知事)

はい、ありがとうございます。自衛隊の方から何かありますでしょうか。

(自衛隊)

自衛隊としては真備を中心に活動を行っており、この後150名くらいを見込んでいます。

豊川から来る増援については、今岡山市の方で決壊等がありますので、そちらに向かってもらう予定です。

(知事)

はい。では、气象台の方お願いします。

(气象台)

はい。特に大きく変わってはいません。やはり昼すぎあたりにピークは過ぎている状況になっています。ただ、やはり雨がずっと続いたということで、土砂災害の危険度がすごく高くなっているということで、今夜遅くから山では警戒が必要だというふうに今のところ考えています。

ただ、全線が停滞している状況ですので、8日にかけて警戒も必要になってくるかもしれない。二次災害にも気をつけていただきたいなというふうに考えております。

(知事)

6時半の会議のときから6時間たったわけですが、雨量は予想通りだったでしょうか。

(気象庁)

予想よりは少なかったです。

(知事)

河川の水位はどのような状況でしょうか。

(土木部長)

全体としては氾濫危険水位から避難判断水位へ下がる傾向にはあります。旭川はダムがあり放流をしているので注視する必要がありますし、高梁川の水位が下がらないと、被災している真備町も水位が下がらないので、注視していく必要があります。

(危機管理監)

雨は少しずつ弱まっていますが、土砂災害警戒情報は継続しており、これまでの雨で、土砂崩れが起きやすくなっております。今後も引き続き警戒が必要と認識しています。

時間を追うごとに被害が明らかになっており、一刻も早い救助を求められております。自衛隊、警察、消防、日赤の皆様には引き続き協力をお願いします。

一方、被災者の方のケアについても考える必要が出てくると思います。救援物資等必要な支援をそれぞれの部局で対応いただきたいと思いますので、現在の全体像を念頭に、諸準備についても、対応していただきたいと考えております。以上です。

(知事)

まだまだ命を救うフェーズだと思っておりますので、日が落ちると、ずいぶんできることが限られてきますので、とにかく日があるうちに、もしくは雨が小康状態になっているうちに、ボートその他もいろんな手段で危ない状態にある人を救うということをよろしくお願いします。

あと徹夜している人も多いので、疲れで事故も起きやすいということも気をつけて、ぜひ二次被害をこれ以上出さないということでもよろしくお願いします。

第4回災害対策本部会議 議事録

1 日時 平成30年7月7日（土）18：30～18：50

2 概要

（知事）

それでは、ただいまから第4回災害対策本部会議を開催いたします。

本日12時30分に第3回本部会議を開催しました。その後の状況の変化について、危機管理監から報告をお願いします。その後、それぞれの部局からの報告をお願いします。

（危機管理監）

人命救助最優先で動いているので、その点を中心に説明させていただきます。人的被害は死者2名、行方不明者6名、重傷1名、軽傷5名ですが、まだ把握できていない部分もありますので、現時点で明らかになっているものというご理解をお願いいたします。住家被害等については資料のとおりです。

現在、救命活動をしている個別案件を中心に、特に朝から変わった点を中心に説明させていただきます。国道180号線で道路冠水のため17名が取り残されていた件ですが、15名の無事を確認しております。前回の報告では14名が取り残され12名が無事との事でしたが、実は17名が取り残され15名の無事が確認されました。ただしガードマン2名が行方不明というのは、午前中のままであります。次に高梁市広瀬駅付近の道路冠水のため取り残された方につきましては、これまで10数名が取り残されているという報告でしたが、実は17名で、全員が自衛隊により救助されたとの報告が入りました。次に特養ホテルの里についても、2階に80名が取り残されていましたが、水が引いて解消したとの報告がありました。アルミ工場の爆発については、既に1～2時間後に鎮火済みであったとの報告がされております。総社市美袋で総社市消防職員が3名流され、これまでは2名救助で1名はまだ流されている状況でしたが、残り1名をヘリで救助し、3名とも救助となりました。特養悠楽で屋上に20名が取り残されていた方につきましては、先ほど全員避難完了という報告が入っております。矢掛町での土砂崩れは、消防が2名を救助済となりました。落合町近似で裏山が崩れた件は、当初は80代男性が安否不明と報告しておりましたが、実は90代女性を取り残されていたというのが正しかったということですが、これについても発見されたとの報告が入っております。倉敷市真備町箭田で浸水被害、住民5名は2階に避難以降の案件が今朝5時の取りまとめから新たに起きた項目であり、これらについてはあまり変化がございません。真備町の関係が並んでおりますが全体がきちんと掌握されているのかどうかははっきりしていないのが現状であると思います。朝の状況と変わっておりません。変わっている点は、笠岡市尾

坂川左岸が決壊という所までが朝でしたが、避難完了の報告が入って参りました。倉敷市広江のコスモタウン広江の土石流につきましても、負傷者なしまで入っていましたが、更に避難完了との報告が入っております。次のページからが新たな報告となりまして、真備町有井で会社の屋根の上に人が避難している。倉敷市広江で土砂崩れが発生した件はおのき団地の 600 名については避難が完了。総社市日羽で男性が濁流に流されたが、警察には連絡済み。倉敷市真備町辻田の中央クリーン社宅で 10 名程度が増水により外出できないが、消防が対応中。倉敷市真備町尾崎で男性が水面に落ち行方不明ですが、消防が対応中。同じく真備町辻田で家屋の 1 階が水没、消防に連絡済み。倉敷市真備町河辺で住宅の 1 階が水没、2 階まで水が迫ってきている。大人 3 人が取り残されているが、消防に連絡済み。高梁市玉川町東伸運輸の 4 名が孤立していたが救助済み。倉敷市真備町箭田のライフタウン真備、高齢者施設ですが、2 階に約 70 人が孤立しているという一報が入っておりますが、日にちが経ってきたので、食料の要請がありまして、食料については既に手配済みで、届く段取りは出来ているという報告が入っております。18 のその他の情報については、今朝ほどと変わっておりません。全体的に救助が進んできておりますが、真備町の地域では厳しい状況が続いております。私からは以上ですが、真備町での現在の救助の状況について池田参事から報告をお願いします。

(池田参事)

真備町での救助活動の人員数ですが、陸上自衛隊、警察、消防合わせて約 290 名で活動中です。現在 17 時までには約 390 名を救出しております。ヘリ 4 機、ボート 27 隻で活動しています。なお、この活動については、夜を徹して活動する予定です。

(知事)

ヘリは動けないけど、ボート、投光器を使って行うということでしょうか。

(池田参事)

その予定です。

(知事)

警察からお願いします。

(警察本部)

倉敷市真備地区を中心に、これまでのところ約 90 名を救出しております。それから県外の部隊の状況ですが、徳島県警のヘリが現場の被害状況の確認を行っております。広域緊急援助隊が奈良県警と和歌山県警が、本日中に岡山に入りまして、明日から 29 名体制で捜索にあたる予定です。

(知事)

自衛隊からお願いします。

(自衛隊)

真備町を重点区域として活動を行っております。本日、愛知県から新たな戦力が来まして、真備町で17時半から活動しております。

さらに、明日につきましては、これも同じく愛知県方面からですが、352人、増員が来まして、これも今のところ真備町重点に配置をして、特にボート等持ってきておりますので、しっかりやりたいと思っております。

本日は投光器をつけて、今日が山場になりますので、全力であたりたいと思っております。

(知事)

今日の夕方来てくれたのは何人になりますか。

(自衛隊)

74名になります。

(消防)

緊急消防援助隊の方につきましては、愛知県大隊22隊96名、奈良県大隊19隊79名、滋賀県大隊33隊121名、300名余の隊員で活動する予定です。

(知事)

ありがとうございます。助かります。

气象台からお願いします。

(气象台)

これから明日にかけては、引き続き西日本付近に梅雨前線が停滞しますので雨の降りやすい状況が続きますが、量的にはかなり減ってきます。

今のところ見込みでは1時間降水量として多いところで20ミリぐらいになる予定です。今日の18時から明日18時までの24時間では、多いところで50ミリ程度の降水を見込んでおります。

明後日以降は太平洋高気圧に覆われて晴れる日が続きますが、今度は気温が高くなります。熱中症対策に万全の体制をとってください。

防災事項について、大雨特別警報の方は15時10分に全て解除しました。現在発表しております土砂災害警戒情報と土砂災害の大雨警報につきましては明日の朝以降、解除できるところから順次解除していきます。洪水警報につきましては、今夜夜遅くの段階で警報が解除できる見込みですが、今のところ、作業しております。ただし、小田川が氾濫して堤防決壊しておりますので、こちらにつきましては総社市、倉敷市の洪水警報は小田川の仮復旧が終わるまで継続して発表し続ける見込みです。明後日までの天気につきましては資料をご覧ください。以上です。

(知事)

あとちょっと私の方から質問です。砂川関係の情報岡山市の情報は我々どれ

ぐらい入っていますか。我々が把握できていないのか、ほぼ把握しているけれども、砂川の方が水位が低いので、そんな深刻じゃないのかどっちの方ですか。

(危機管理課長)

胸のあたりまでということ、真備ほど緊急性はないということ、岡山市消防の方が今全力でやっているということ、加えて自衛隊の方もやっただいているということです。

(知事)

もし、岡山市から情報が来て、思ったよりも深刻だということになると、ちょっとその、配置の配分を変えなきゃいけないということは、それはちょっと一応留意しておいてください。

(危機管理監)

雨は次第に弱まってはまってまいりましたが、土砂災害警戒情報は継続しており、これまでの雨で土砂崩れが起きやすくなっているということも事実であります。今後も引き続き警戒が必要と考えております。時間が進むごとに被害が拡大しており、一刻も早く救助を求められている方も多くいらっしゃいます。自衛隊、警察、消防、日本赤十字社の皆様にも引き続き協力をお願いしたいと思います。一方、先ほど支援物資の手配済みとのお話がありましたが、日にちがたってまいりましたので、被災者のケアとか、救援物資も必要になってくる段階に入りつつあると考えております。関係部局役割分担の中で、次のことも念頭に置きながら、それぞれの業務をお願いしたいと思います。

(知事)

今の時点で特に共有すべきものがありましたらお願いします。では、私の方から指示をさせていただきます。人命最優先というのは変わりません。今は救助フェーズですので、とにかく1人でも多くの命を救うということをお願いします。ようやく、マンパワーが入ってきました。一番心配な真備については、夜通し救助をしていただけるということで、大変心強く思っています。マンパワーができた時には、交代しながら、24時間寝てないという人にいかにきちんと休んでもらうか。寝てない人が作業するとまた新たな事故の元になったり、いろいろ二次災害の元になりますから、マンパワーがないときはもうとにかく寝てなくてもやるしかありませんけれども、ある程度確保できれば、そこら辺もぜひ考えておいてください。よろしくお願いします。あと市町村との連絡もぜひよろしくお願いします。次の会議なんですけれども、まだ日時は決まっておられません。9時半か10時にしようと思っておりますけれども追って連絡をします。明朝9時半もしくは10時です。

(危機管理監)

被害状況の取りまとめについては、今日中にもう1度はやりたいと思います

ので、時間の設定をして、各部局に改めてお知らせしたいと思います。今日中にはもう一度取りまとめ作業をしたいと思います。もちろんプレスにも公表させてもらいます。11時から12時頃になると思いますが、ちょっとまた時間設定は、最終的に決めさせていただきたいと思います。

第5回災害対策本部会議 議事録

1 日時 平成30年7月8日（日）9：30～9：50

2 概要

（知事）

おはようございます。ただいまから第5回災害対策本部会議を開催します。

昨日18時30分に、第4回の会議を開催しました。その後の状況の変化について、まず危機管理監から、その後、各機関からの報告をお願いします。

（危機管理監）

資料の1ページ、状況は大きくは変化しておりませんが、数字はこれから状況がわかるにつれて、増えていくのではないかと思いますので、まずは簡単に説明させていただきます。最初のところは、行方不明者が1名増えたことでございます。

次に資料6ページをお願いいたします。

こちら昨日の状況からは大きく変わっていません。これにつきましても、今日明るくなってから新たな報告があるのではないかと考えています。

全体的には新しい報告は、7ページの午後9時半以降のところですが、倉敷市真備町呉妹で救助が必要な者が多数いる、消防が救出活動中という形で報告が入ってきていますが、どの程度本当に残されているかというのは十分掌握できてないというところもあります。時間の経過もありますので、本日は、最優先は人命救助という観点からしっかり取り組みたいと考えている状況でございます。簡単ですが以上でございます。

（警察本部長）

前回の会議以降、警察で救助した人の数は約50名です。

それから現時点で通行止めとなっている道路につきましては、高速道路2本、一般道の4本についてそれぞれ一部がまだ通行止めとなっております。

それから、現時点で報告きた段階で、変死の取り扱いとして4名のご遺体を現在調査中ではありますが、災害との関連についてはまだ調査中であります。そして真備町での救助体制ですが、奈良県警、和歌山県警の広域緊急援助隊と岡山県警合わせて77名体制で今日の救助に当たっております。ヘリコプターは愛知県、徳島県、長野県、大阪府警4府県から4基で現場の確認等を行っております。

（知事）

ありがとうございます。真備に特化して説明をお願いします。まず土木部長からお願いします。

（土木部長）

小田川直轄河川でございますけれども、破堤とそれに接続する県管理の高馬川それと末政川、この 2 ヶ所が決壊しております、被害が及んでおります。国の発表でございますけれども浸水面積が約 1200 ヘクタール、膨大なものになっております。これに対して国の方においてはですね、まず昨日 7 月 7 日の 22 時から小田川の破堤箇所においてブロック等を投入するような緊急対策工事を着手するという事を聞いております。

本日から、全国から排水ポンプ車を集めて一気に排水を開始する予定と聞いております。それでカメラをみていただいたらわかるとおり、昨日よりも若干、水位が下がっております。昨日の昼が一番高く、井原線の線路近くまでありました。小田川の方も本川の高梁川の方も水位がピーク時と比べて相当下がっておりますのでそれに伴って浸水区域の水位の低下が予想されています。この低下に合わせて県の方も破堤した箇所をしっかりと応急復旧していく予定にしております。

(知事)

国交省のリエゾンの方から特にありますでしょうか。

(国土交通省)

真備の対策として先ほど報告がありましたが、ポンプ 23 台と照明車 11 台、これについては今朝までに現地に到着しています。8 時半から調整会議の後に作業の準備に入り、昼頃には作業に入れると聞いています。

(知事)

ありがとうございます。とにかく水があると救助にも支障がありますし復旧にも当然支障があるのでどうぞよろしくお願いします。ありがとうございます。あと池田参事の方からお願いします。

(危機管理課)

真備地区の給水車の状況です。今日 8 時の段階で約 1000 名を救出した。ヘリは 10 基、ボートは 50 隻、また、ヘリについては陸上自衛隊からの支援も可能とのことです。

(知事)

何人まだ救助されてないかっていうのはどれぐらいわかっていますか。

(自衛隊)

約 300 名の動員で調べまして、今朝 6 時から救出していますが、まだ 1,000 人以上いるのではないかと考えています。

公民館で 60~70 名、真備記念病院が約 300、それぞれの家庭にやはり数人単位で全容は把握できていないが、我々としては、現場の要請が非常に強いのは病院の救助、水、食料、簡易トイレなどについて要請があったのでヘリで物資を降ろせないか検討しています。

(知事)

できているかは別として、今それに向けて作業中ということですね。ありがとうございます。

(保健福祉部長)

真備記念病院の状況について今先ほど 8 時 45 分の状況で在院数 276 名、入院スタッフも避難者ということなのですが、自衛隊にもお願いしていますし、重症者については本日中に DMAT も使って特に透析患者さんもいらっしゃいますので対応しています。

(知事)

そうですねヘリについて昨日も飛べる飛べないというのがありました。ヘリの運航の条件がどうなっているのか、それから今日の運行の可能性について教えていただけますでしょうか。

(岡山地方気象台)

ヘリコプターの諸条件につきまして、真備町周辺の気象状況ということで、まず視界につきましては本日おおむね 10 キロ以上 1 万 m 以上が見通せる見込みですが、雨が降ったりやんだりしますので、雨が降る時間帯は一時的に 3,000m 程度まで落ち込む可能性はあります。

(知事)

ヘリが飛ぶためには、視界はどれだけ必要なんですか。

(消防保安課)

3,000 メートルです。

(知事)

3,000m あれば飛べるし、なければ飛ばない。わかりました。

(岡山地方気象台)

続きまして雲の運転コードにつきましてはおおむね 3,000 フィート程度ですがこれも雨が降るタイミングで低い雲が入ってきまして 500 から 1,000 フィート程度の雲が、一時的に広がる可能性はあります。

(知事)

条件が 3,000 フィートよりも高くないといけないのにそれよりも低くなる可能性がある。

(岡山地方気象台)

だいたい 1000 フィートあれば飛べると聞いているが、それより高ければ高い方がいい。

(知事)

1,000 フィートっていうのはだいたい 300m ってことですよ。

(岡山地方気象台)

続きまして、雷ですけどもこれにつきましても今日は雷のおそれがあります。周辺空域で雷雲が発生・接近する可能性もありますので、代行等で確認しながら発達した雲を避けるようによろしくお願いいたします。

風向風速につきましては東寄りの風で MAX12 ノット程度ですので風については問題ないと考えています。

(知事)

整理すると、四つ条件があるわけですね。視界が 3,000m 以上あって雲の高さが 1,000 フィートよりも高く、雷がなくて風速がある程度以上低いと、風は大丈夫そうだけど、視界と雲はちょっとわからないと。

真備に集中して聞きましたけれども、それ以外も含めて警察消防自衛隊の方。お願いします。

(緊急消防援助隊)

昨夜の会議以降、徹夜で活動を継続しました。24 時までの間に緊急消防援助隊関係で救出者 67 名、24 時以降、今までの時点で 62 名、合計 129 名の方を救出しました。今後の真備地域の活動でございますが、水没エリアを四つの区域に分けて、自衛隊、緊急消防援助隊の愛知県隊と警察、滋賀県隊それから奈良県隊、四つのエリアに分けてエリアごとでボートをメインに救出活動をする予定でございます。一番西が奈良県隊、その東に滋賀県隊、その東に警察、愛知県隊、倉敷の地元の消防、一番東が自衛隊となっています。それから空域も消防関係のヘリで同じように上空を分けまして、東京消防庁と岡山県のヘリ、それから奈良県、大分県、熊本県のヘリ、それから県警のヘリ、そういうふうに区分けをして、エリアごとで活動する予定でございます。

(知事)

テリトリーわけではすごくいいアイデアです。境目でどっちにも助けてもらえなかったっていうのがないようにぜひお願いします。ありがとうございます。他に真備以外も含めて警察消防大丈夫でしょうか。

(警察・消防)

はい。

(知事)

あともう一つさっきヘリが飛ばないのは、二次被害を防ぐ意味でも、飛ばないときは飛ばないんですね。ただ何が起きてるかわかんないっていうのは困るので、ドローンが使えるかどうかについては、誰かお願いいたします。

(危機管理課長)

災害協定を結んでいる損保会社からドローン 1 台の提供の申し出がありまして、本日午後から活動の予定にしています。

(知事)

かなり貴重なドローンになりますね。簡単には落とせない。もしもう買ってでも借りてでもあれば2台でも3台でもやっぱり助かりますので、誰かどこか持っていれば、使えるものは使いましょう。

それでは砂川の状況についてお願いします。

(土木部長)

砂川でございませけれども、相当の区域が浸水しておりまして、今朝確認したところでは、砂川の岡山市東区沼地区でございませけれども、相当浸水しております。今朝の時点でやっと砂川自体の水位は下がって決壊が約100mぐらいあるんですけど、そこからの外への流出がやっとおさまったかな、というところですが、依然として浸水区域も高いままでございませるので、これからちょっとポンプ車等の対応を準備していきたいと考えています。

(土木部長)

今一番深いところ今日届いた情報では、1番深いところで1.5m、人間の高さぐらいはまだ残っているというところですよ。

(知事)

昨日よりずいぶん深くなりましたね。

(土木部長)

昨日も多分もっとそれ以上はあったと思います。

(知事)

砂川の方も最初くるぶし膝だっという話を聞いてましたけど、1.5mってまたずいぶん様相が違ってきますから。対応の方もよろしくをお願いします。

とにかく二次災害に気をつけて、まだその1,000名、真備地区で救助を必要の人が残っているっていうのは、これは大変なことです。しっかり頑張ってもらいたいと思います。では、危機管理課の方からこれを踏まえての対応方針をお願いします。

(危機管理監)

対策本部といたしましてまだまだ気象情報に十分留意して、引き続き警戒していく必要があると考えております。

本日の会議の通り、一刻も早く救助を待たれている方がいらっしゃいますので、警察消防自衛隊さらには、先ほどDMATの話をしていましたが、皆様方の協力を仰ぎながら、しっかりとともに取り組んでまいりたいと思います。

それからさらに、一部の地域では、避難生活も始まっておりますので、そういった方にも目をむけながら、様々な支援物資の支援等を各部局でも、役割分担を踏まえて、しっかり進めさせていただきたいと考えております。以上でございます。

(知事)

あと、これまでの本会議もとにかくさっさと一番大事な情報共有だけしてすぐ次の行動に移るっていうことだったんですけど、今の時点でここはちょっと反省だな、ここからの24時間でも変更しておかなきゃみたいなことが今ありましたら、共有したいと思いますけど、特にこれはすぐに変更すべきみたいなことはあればお願いします。

(内閣府)

政府の動きをご紹介いたします。本日朝に政府の豪雨災害の非常災害対策本部が設置されました。本日9時に本部会議第1回の本部会議が総理出席のもと関係閣僚出席のもと開催されました。その場で総理からは、被災者の救命救助及び生活支援のために先手先手で対応に当たっていくというようにという指示を各閣僚に出されました。私どもといたしましても、被災地のニーズをしっかりと把握しながら、万全の対応をしていきたいというふうに考えておりますので、県の皆様、関係機関の皆様と力を合わせて対応させていただきたいと思います。

(知事)

よろしくどうもありがとうございます。大変心強く感じます。ありがとうございます。

まだまだ救助フェーズの中です。冬よりはまだましですが最初の72時間で救助できるかどうかということなので救命率が全然違うということなので、しっかり頑張ってもらいたいと思います。市町村との連携、双方ともに混乱しがちなんですけどもぜひしっかり連携をとって頑張ってくださいと思います。では、第5回の会議を以上で終わります。よろしくお願いします。

第6回災害対策本部会議 議事録

1 日時 平成30年7月8日(日) 15:30~15:50

2 概要

(知事)

ただいまから第6回災害対策本部会議を開催します。本日9時30分に、第5回会議を開催しました。その後の変化について、危機管理監、各部長から報告をお願いします。まず危機管理監からお願いします。

(危機管理監)

まず、人的被害についてですが、人的被害については数字が今後増えてくと思えます。住宅被害につきましても増えており、これから判明するに従ってどんどん増えていくと思っております。

次に(3)の非住家被害ですが、数字が間違っておりまして現在確認中ですので、後ほど改めてご説明します。申し訳ございません。

避難指示等については、減少の傾向にあります。反対に避難されている方はこれから増えていくということを心配しております。

先ほどの(3)非住家被害について、口頭で修正します。

全壊、合計2棟とあるのは新見市の間違いです。次に床上浸水は1棟であります。高梁市であります。判別不能の合計が2棟とありますが、これは総社市です。誠に申し訳ありません。

それでは15個別案件のところは、朝からほとんど変わっていません。8時以降で、追加させていただいた項目はもう日中は様々な活動がされている最中なのでまだ新しいことが入っておりませんが、中身については二件ありまして、寺院で20世帯が孤立していますが食料の問題が出てきています。それからまきび病院につきましても、タンクの水量が減ってきていて水・食料の要請について確認して道路がアクセス可能ということですが今後は避難とか患者の方なんかの食料とか水の心配をしていかない段階にはいっていると思っております。

こちらには記載してはいないんですが情報として、県から倉敷市にリエゾンを派遣しておりますが、リエゾンからは、浸水地域から救助された方々に入浴とかをさせて欲しいんだとか、救助された方々についての要望であるとか相談事項が来ているということなので、今後、その対応をしていくということをしっかり検討して早く倉敷市の方に返していかなきゃいけない。まずは倉敷市の要望事項確認させていただき、それに対応するかという早めに打ち出していかなきゃなというふうに考えている状況です。状況については以上でございます。

(知事)

警察本部長をお願いします。

(警察本部長)

真備の現場に行ってまいりました。温度は上がって暑くなってくる中、関係機

関が連携して、懸命に救助活動を続けておりました。今後、気温が上がっていくことが懸念されたところでもあります。

それからご遺体の発見等も何体かございました。ただいま発表ありました人的被害者4名以外で、現在警察でご遺体を発見して、災害との関連等については現在調査中でありすけれども、それ以外で6名の方がいらっしゃいます。一名の方は総社市です。それから、5名の方が真備町で男性の方1名女性の方4名のご遺体を発見して、現在災害との関係について調査しているところでもあります。

(知事)

消防・自衛隊の方、お願いします。

(緊急消防援助隊)

朝の報告以降の消防の活動についてご説明します。朝、ご報告した通りエリアを分けて活動した結果、橋の西、倉敷市消防と愛知県の緊急消防援助隊で活動し、結果として76名の方を救出してございます。その隣、滋賀県の緊急消防援助隊が4名の方を救出、それから一番西になりますが奈良県隊で7名の方を救出、地上部隊で合計87名を救出、それから航空ヘリによって22名の方を救出、本日109名の方を救出しています。それから朝の報告時点から新たな動きとしまして岡山県内の消防の応援の協定の中で、人員搬送車を5台、ドローンを2基、救急車を3両追加をして、それぞれ活動に当たっているところがございます。この後の本日の予定ですが、明らかに手を振って助けてほしいというような方が視認する限り明らかに減少していますので、本日は日没をもって活動を終了したいというふうに考えております。

(自衛隊)

自衛隊も真備の付近に集中しております。今言われた通り警察と消防と連携して、東半分を担当しています。10師団とそれから岡山県所在の部隊で7月7日から本日まで、もう少し増えると思いますが、約720名を救出していると状況です

それにより、現在の我々の認識ですが、人命救助のステージはおおむね終了したのではないかと考えております。引き続き、自衛隊としましては、次の生活支援のステージへの移行準備を並行して実施をしなければいけないなということで、その準備に入ったというような状況であります。

(知事)

各機関のリエゾンの方から順次状況を教えてください。

(国土交通省)

真備の方ですが、23台のポンプ車を送っているが、現地へポンプ車を持って行く道が狭いため、人命救助の作業を優先して作業を行っています。現在10名が稼働中で夜を徹して作業を行う予定です。

砂川については、15時半から現地で打合せを行っています。それからヘリの

方が現地調査で 14 時から 2 時間くらい県南全体の調査をしています。

(危機管理監)

救助者の人数的な状況というものが全体像、そうですね個別からは出ますがそれを説明します

(危機管理課)

14 時現在で累計約 2,310 名、そのうち真備地区が約 1,850 名となっています。

(危機管理監)

あわせて、他県からの支援の方も入っておりますので、それもあわせて報告をいたします。

(危機管理課)

救助救出に続いて、生活支援についても人的支援が必要になるということで、自衛隊に対して 5,000 人の応援をお願いしています。さらに中国 5 県の協定によるカウンターパートである鳥取県については、リエゾンが本日から派遣されて来ることとなっています。さらに、今後の生活支援等で保健師の派遣、土木技師による調査隊についても申し出をいただいております、今後、鳥取県が窓口となって全国知事会、関西広域連合等に対して要請していくというスキームができています。

(知事)

鳥取とのカウンターパート協定は本来は我々が鳥取を助ける方向でしたが、本当にありがたいと思っています。それ以外にも三重県、宮城県とかから何かできることがあったらとお話をいただいております、本当にありがたく思っています。

他にリエゾンからはこれで終わっていいでしょうか。

それでは气象台の方から今後の気象状況についてお願いします

(岡山地方气象台)

今後の気象状況についてご説明差し上げます。雨の心配はほぼなくなりました。これから明日の午前中ぐらいにかけて弱い雨がまだ残りますが、明日の午後からは晴れるという見込みになっております。

ただ、雨があがりますと気温が上がりますので、今まで以上に熱中症対策、特に被災者の方には、支援物資等がありますけども、作業される方も水分補給をしながら十分な熱中症対策をとっていただくようよろしくお願いいたします。あと避難所等で空気がこもるとそれだけで気分が悪くなりますので、換気設備とかありましたら、換気するように心がけていただければと思います。

防災事項につきましては、先ほど申しました熱中症対策がメインになってきます。あと河川が氾濫して堤防が壊れてるところは、大規模なところは洪水警報を残しますし、中・小規模のところには洪水注意報を残します。

少しの水でもあふれる可能性がありますので洪水には注意していただきたいと思っております。

あと資料の方に個別の支援資料ということで、細かい資料を載せたものの URL

をつけておりますので、説明は省きますが各自、ご確認いただいて、適宜使っていただければと思います。

(知事)

ありがとうございました。これを踏まえて、各部長もしくは危機管理監から何かありますか。

(保健福祉部長)

徐々に支援スピードフェーズということで、避難されてる方、特に倉敷の真備から避難されているかたが増えてきております。そういう意味で倉敷市からの派遣要請ということで、県の保健士チームを1チーム2人の3チームをこの午後から派遣させていただいております。

今後いろんなところをさらに要望もありまして先ほどの鳥取あるいは兵庫の方の近県からも派遣の協力があるということがございますので、災害本部を通じてそちらの方の要請もさせていただくということ、まだまだ倉敷市からは10チームぐらいをとというような話もありますので国に対しても、全国からの保健師チーム派遣というのを要請したいというふうに思います。

(危機管理監)

今後も引き続き、被災者につきまして、一刻も早い救助していかなくちゃいけないと思います。数は減ってきてますが、時間が経ってますので、本日の重要性は変わってないと考えております。

そういうことがありますので、まずは被災者の方も早い救助を目指して警察消防自衛隊、日赤にその皆さん方に引き続き御協力をお願いしたいと思います。また、この本部会議でできましたように、これから避難者に対する支援や、避難所ニーズに的確に対応していくことが必要になると考えておりますので、関係部局とも連携を深めながら取り組んでまいりたいと考えております。

それから一部の地域では、特に避難生活が長く続く可能性もあると懸念しております。被災者の方々のケアについても考える必要がありますので、救援物資等必要な支援をそれぞれの部署で検討をどんどん進めていっていただきたいと考えております。

(知事)

では、私の方から指示をさせていただきます

へりのライブ映像が出ていますが、ここまで広域に市街地が浸かった、そのうち救援を求める人の数が数十人数百人じゃなくて1000人を超えてるっていう事態はこの数十年間なかったことで、我々にノウハウを持っていないことが起きてるんだということで、ぜひもう一度気持ち新たに頑張りたいと思います。

先ほど自衛隊の方から救出する数はぐっと減ってきた救出すべき人は塊とすれば、ほぼ救出できたのではないかっていう大変嬉しいニュースをいただいたところですね。あと、この時点でもう救出しなければいけない人がいるかい

かっていうことは断言できません。実際それぞれの家に入って確認したわけではありませので、1人1人を救うという点でいえば、効率が悪くなるけれども、人命の重さを考えれば、やらなければいけない作業がまだまだ残っています。

冬ではありませんけれどもやはり水のこと食料のこと。怪我をされた場合のことを考えれば、72時間以内かどうかということが救命率に大きく影響を与えるっていうのは大きな意味で変化はないと思っています。

そのためにも早く水を抜きたいですし、今、たくさんのリソースを他県からもいただいて本当にありがたく思っています。我々自身も、作業にあたってくださってる方々も疲れていますので、ぜひ、事故とかミスとかがないように交代要員はしっかり休んでもらうと同時に、本当に命を救うということを肝に銘じてしっかりあと数日間、最後の救助フェーズを頑張っていたきたい。

多くの人にとっては救助フェーズは終わろうとしています。実際、それぞれの避難所で生活をされてる方、東日本大震災でもありましたけれどもせっかく助けられた命がそこで体調壊して本来の体調であれば、あと5年でも10年でもっていう方が、わずか数週間、数カ月で亡くなられた関連死と呼ばれるものをここで絶対に防ぎたいと思っています。

避難所運営はそれぞれの市町村だというのがとりあえずのたてりだということですがけれども、例えば倉敷市にとってこの分量っていうのはとても通常オペレーションでできる範囲を大きく超えていますので、ぜひ県としても積極的に支援をしていきたいと思っています。また、他県からの支援もできる限りスムーズに受け入れて、避難されている皆さんの体調が、悪化しないように努めていきたいと思っています。その他、今の時点で共有しておかなければいけないことがありましたらお願いします。

(内閣府)

災害救助法がすでに適用されております。災害救助法は、避難所は当然市の事務ですが救助法の事務は県ですので、ぜひ県の関係者の皆様方は、救助の事務について積極的に対応していただいて、関係機関と協力して対応していただければと思います。

(知事)

今、被災されている方は全員岡山県民でありますので、しっかり頑張っていきたいと思っています。

これで第6回の本部会議終わりにします。ありがとうございました。